RIPPLE SAILING CLUB
NO.92

月刊 1990・5・15

RIPPLE

（発行） 500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
TEL 0468−57−1711

第6回スポット対抗駅伝ヨットレース

来る6月3日（日）恒例スポット対抗駅伝ヨットレース第6回目が逗子海岸で行われます。使用艇はシーホッパー1かシーホッパー2で2人で乗り込み4箇所のブイを計8人で帆走して来ると言う何とも変わったレースですがこれがまた岸で見ているギャラリーにとっては格好の見せ物となり、砂浜は笑いと罵声と歓声が飛び交い大いに盛り上がるのである。

例年15チーム程が参加をし、120名の参加者が集う湘南カップと並んで初夏の一大ビックイベントとなっております。

そして我がリプルは過去3位と言う成績を残しているものの総合優勝は惜しくもまだ取って居りませんがそろそろ今年辺りは狙ってみたい気もします。

そこで、我がリプルは2チーム以上計8名以上の選手団を送り込もうと思っております。すでに山ちゃんが申し込んでくれました女性4名がクルーとして乗り込むことになっております。

また、上位入賞を狙っての作戦を立てなければならないので参加希望者はなるべく早く申し込んで下さい。

8：00	リプル集合
8：30	出発
9：30	受付開始
11：00	スタートと同時にパーティー開始 （今年は2人3脚で陸上ブイを回るためビール片手に応援できる）
14：00	表彰式

参加することに意義があるこのイベント、ビール片手に初夏の一日を楽しんで下さい。

※参加費の支払いは期日迄にお願いします。

前半最後のリプルカップ

来る6月10日（日）リプルカップを行います。

今年は天候とか参加者不足でまだ一度も行われて居りません。例年のように7、8月はリプルカップは中止に成りますので、前半最後のレースとなります。

梅雨空を熱気でふっ飛ばす様なレースにしたいと思いますので、多数の参加者をお待しております。

9：00	受付開始
10：00	スキッパーズミーティング
11：00	スタート（2−3レース）
15：00	パーティー開始

東京湾オープンレガッタ募集中!!

来る5月27日（日）SURF'90の1イベントとして東京湾オープンレガッタが行われます。そこで我がリプル号もエントリーをしたいと思いますので参加者を募集致します。

定員12名の艇ですが7−10名位がよろしいかと思いますので参加者は至急（18日）迄に申し込んで下さい（後日の追加不可）。先着順に決定します。

（大会要項）

日程	出艇申告	8：00−9：00（コーチヤ）
	艇長会議	9：00（コーチヤ）
	スタート	11：00
	リミット	14：00
	パーティー	15：30（コーチヤ）
会場		金田湾−長沢沖
コース		S−1−2−1−2−F
EF		5，000円

海難事故続出!!

この春関東近辺で例年になく海難事故が続発し何人もの尊い命が奪われました。

新聞に載っただけでも既に4月中旬から下旬にかけて5件もの海難事故が報告されています。

これは春先特有のしっかりとした前線を伴った日本海低気圧の通過に伴う突風の吹き出しに因るものが原因と考えられます。

一般に立春以後の”春一番”の強い南風を皮切りに防風日数（10m／sを越える強い風の吹いた日）が年間で一番多い4月は高気圧と前線を伴った低気圧が次々に日本上空を通過して行きます。

そして、日本海低気圧の通過の度に季節に因って”春一番”、”春の嵐”、”メイストーム（5月の嵐）”と呼び名を変え海難事故の発生源因となっているのです。

これはある程度の気象知識が有り、セーリングの2−3日前ぐらいから気圧配置に気を使っていれば未然に防げるものですが時として大きな判断ミスを起こしやすいのです。

それは低気圧の通過中先ず温暖前線により雨及び強風のため誰しもがセーリングを見合わせるのですが、温暖前線通過後の一時の晴天域にだまされてしまうのです。特に温暖前線と寒冷前線の伴った低気圧のそれも低気圧の発生の幼年期から青年期にかけての前線の開き角度（？）の大きな物の間は時として適度な南風と五月晴れの様な天候に次に来る寒冷前線の事などすっかり忘れさせる様な天気になることがよくあります。

しかし確実に寒冷前線が近ずいて来ているのです。

まづ、西方あるいは北方の方に真っ黒な雲が急速に接近して来ると同時に今までの南風が急速に風速を落し始め、また風向が急速に振れだしものの10分と経たない内に北風に変わり風速もあっという間に15m／sに達してしまうのです。また特にこの頃は寒暖の差が大きく前線通過に伴う突風の吹き出しは強烈な物のようです。

よくこの辺の漁師が言っている”春の南風は荒天の前ぶれ”はこの辺りに起因するのかもしれません。

そしてこの様な状態に遭遇したらとにかく何処でも良いから岸に上がるのが鉄則です。良く初心者が起こしやすい過ちとして見られるのが状況がますます悪くなっているのに出艇した所に戻ろうとすることです。

また、この様な最悪の状況から抜け出せ無かったらとにかく艇から離れず心を平静に保ち前線通過を待ちましょう。恐らく2−3時間後には納まります。

まだまだメイストームの発生するこの季節、天気図には十分注意をしウエット、ライジャケの着用と日頃のセーリング技術を磨き楽しいセーリングを致しましょう。

（4月に発生した海難事故）

4、15	葉山沖でBSの2人強風のため行方不明。24時間後に救出。
4、22	千葉県九十九里浜で11人乗りのPB転覆。8人死亡。
4、24	長浜海岸でBS部の2人が強風のため遭難。2人死亡。
4、29	強風のためSY、BS多数転覆。保安庁等の協力で79名救出。
4、30	強風のため第一海堡にSY、PB乗り上げ。4人救出。

ボートライセンス13名全員合格致しました。